テーマ　秋の気配

主な花材

ヨウシュヤマゴボウ　（京都府産）

明治のはじめに渡来した、北アメリカ原産の帰化植物です。初夏から秋にかけて小さな白い花をつけ、花後に黒紫色の果実が熟します。根や葉など全草に毒を含む有毒植物です。

花言葉：元気、野生

ケイトウ　（佐賀県産）

名前の由来は、鶏のとさかのような形をした真っ赤な花を咲かせるところからといわれています。

花言葉：おしゃれ、気取り、風変わり

ペニセタム（レッドフォックス）　（大分県産）

猫じゃらしのような穂を付けるのが特徴的なイネ科の多年草です。ペニセタムという名前は、花穂の様子にちなんでギリシャ語のpenna(羽毛）とseta(刺毛）からなっている等、諸説あります。

花言葉：自然に生きる、元気

リキュウソウ　（和歌山県産）

名前の由来は、葉姿が好まれ、茶花として使われるようになったことから「利休草」と呼ばれるようになったといわれています。中国原産のツル性多年草で、もとは薬草として江戸時代に日本に入ってきました。

花言葉：奥ゆかしさ

ハラン　（千葉県産）

江戸時代に中国から伝来した植物です。防臭効果があるとされ、料理の掻敷（かいしき）としても使われます。

花言葉：強い心、強い意志